

令和5年度第2回みんなで支える森林づくり県民会議 現地視察

1 開催日時

令和5年11月2日（木） 10時45分～14時10分

2 出席者

(1) 構成員（9名）

秋葉芳江構成員、麻生知子構成員、植木達人構成員、上原貴夫構成員、
小林芽里構成員、嶋村浩構成員、高見澤秀茂構成員、平賀裕子構成員、堀越倫世構成員

(2) 事務局（長野県）

須藤林務部長、森林政策課長、信州の木活用課長 他関係職員

3 視察先及び概要

第4期森林づくり県民税（令和5年～9年度）から新たに実施する「再造林の加速化」と「県民が広く親しめる里山づくり」に取り組む次の2つの現場を視察。

(1) 上田市赤坂地区（主伐・再造林実施現場） 【事業主体】信州上小森林組合

- 主伐4.65ha（カラマツ 70年生）、再造林（カラマツ 2,300本/ha）
- 森林作業道を開設し、車両型システムにより伐採・搬出等を実施
- 伐採・搬出（素材生産）から再造林等（地拵え・植栽等）まで一貫して同じ作業班が担当して施業を実施
- 資源の循環利用や防災上の観点から、主伐の計画時には基本的に再造林を前提に 森林所有者へ提案。防災等の観点から伐採後の植栽を希望する森林所有者が多い
- R5年度からの森林税により標準的な経費の10/10を補助する「再造林・初期保育への嵩上げ補助」を受けられるため、森林所有者の負担も非常に少なくなることから提案がしやすく、積極的に再造林が進められる



（現地上部から）人力で地拵えを実施



視察箇所の状況等について説明



（現場入口から）上部を望む



有用な広葉樹等は保残して施業

(2) 上田市飯沼（地域主体の里山整備・利活用に取り組む現場）

【活動主体】飯沼自治会 里山環境整備プロジェクトチーム

- 平成 30 年度に里山整備利用地域として認定を受け、森林資源の利活用や防災・減災対策としての環境保全活動など、里山の復活に向けた活動に取り組まれている
 - （一例）・伐採した松くい虫被害木を活用して積木を作成し、地域の保育園へ贈呈
 - ・きのこ用原木や薪の伐採、搬出
 - ・沢筋の浸食防止のための丸太柵工（床止工）の設置 等
- 石尊山里山公園を整備して広く開放しており、里山の魅力を感じられる憩いの場として利用されている。地域の保育園児たちがお散歩等で里山公園を訪れ、自然に親しむ貴重なフィールドとして利用されている
- 令和 5 年度には、開かれた里山整備・利用計画を策定し、地域内外問わず多くの方が親しめるよう活動が進められる予定



里山公園までの遊歩道を整備
伐採木を活用した階段も設置されている



木を活用したテーブル・ベンチの他、
花木の植栽などにより憩いの空間を整備



里山公園にて取組について説明



里山公園からの眺望（浅間山を一望）